



今年度最後の授業参観・学級懇談会

昨日(1日)は、今年度最後の授業参観・学級懇談会でした。各学級、工夫を凝らした授業参観が行われていました。自分の成長したことを発表した学年や、算数の図形で箱作りに挑戦した学年もありました。総合的な学習の時間で調べたことを発表したり、社会科での気づきを出し合ったりしている学年もあり、子供たちが一生懸命学んでいる姿はもちろん、廊下には保護者の方々が熱心に参観されている姿で溢れていました。小学校生活最後の授業参観となった6年生は、自分の成長とともに家族に感謝するスピーチも行われ、胸がジンとする場面もありました。



学級懇談会では、担任の方から1年間を振り返った学級の成長の話があったと思います。参加していただいた保護者の皆様全員で子供たちの成長を共有していただき感謝しています。子供たちには、今年度を気持ちよく締めくくってもらうためにも、保護者の方からお子さんの成長をしっかりと認めていただき、次の学年に向けてやる気をもって臨ませて欲しいと思います。

学校評議員会も開催しました

授業参観に合わせて、学校評議員会も開催しました。「わくわく通信58号」にも紹介した通り、地域や社会に開かれた学校づくりの推進のために、学校評議員の制度があります。今回は、学校運営や子供たちの様子を知ってもらうために、授業参観を見学していただきました。

学校評議員会では、私の方から評議員の皆さんに、学校評価アンケートの結果や学校運営について説明し、意見交換を行いました。

評議員の方からは、「『4つの心』が子供たちに浸透している。常日頃から使っているので、道徳と日常生活が繋がっている。」「子供たちが『4つの心』を自分のものになっている。子供たちの姿に感動した。」「自己有用感が伸び、その心を育てる研究に取り組んでいることは素晴らしい。」というコメントを頂きました。次年度も、学校評議員の方々から、学校の課題等があればご意見をいただき、教育活動の改善に活かしていこうと思います。評議員の皆さん、参加いただきありがとうございました。